

管内貿易概況(徳山、光、防府、平生)

平成22年分(速報値)

平成23年2月4日
徳山税関支署

輸出は3年ぶりのプラス 輸入は2年ぶりのプラス

1. 総額

輸出	10, 295億20百万円	(+ 18.5%)
輸入	6, 223億62百万円	(+ 21.4%)
輸出入差引額	4, 071億58百万円の出超	(増減比は前年比、以下同じ。)

2. 輸出

輸出総額は、10, 295億20百万円、伸び率+18.5%、金額にして1, 607億01百万円の増加で3年ぶりのプラスとなった。これは金属製品、セメントなどが不振であったものの、自動車、自動車の部分品などが好調だったことが主な要因となっている。

品目別動向では、北米、欧州等向けの自動車が1, 043億85百万円の増加、中国、タイ等向けの自動車の部分品が170億09百万円の増加、中国、アメリカ等向けの合成ゴムが143億86百万円の増加、中国、韓国等向けの鉄鋼が128億29百万円の増加、中国、韓国等向けの有機化合物が90億96百万円の増加となった。

一方、韓国、マレーシア等向けの金属製品が9億60百万円の減少、香港、シンガポール等向けのセメントが8億76百万円の減少となった。

《増加品目》	自動車	5, 325億53百万円	(1, 043億85百万円増、+ 24.4%)
	自動車の部分品	680億77百万円	(170億09百万円増、+ 33.3%)
	合成ゴム	386億05百万円	(143億86百万円増、+ 59.4%)
	鉄鋼	752億29百万円	(128億29百万円増、+ 20.6%)
	有機化合物	1, 463億49百万円	(90億96百万円増、+ 6.6%)
《減少品目》	金属製品	12億05百万円	(9億60百万円減、- 44.4%)
	セメント	25億85百万円	(8億76百万円減、- 25.3%)

3. 輸入

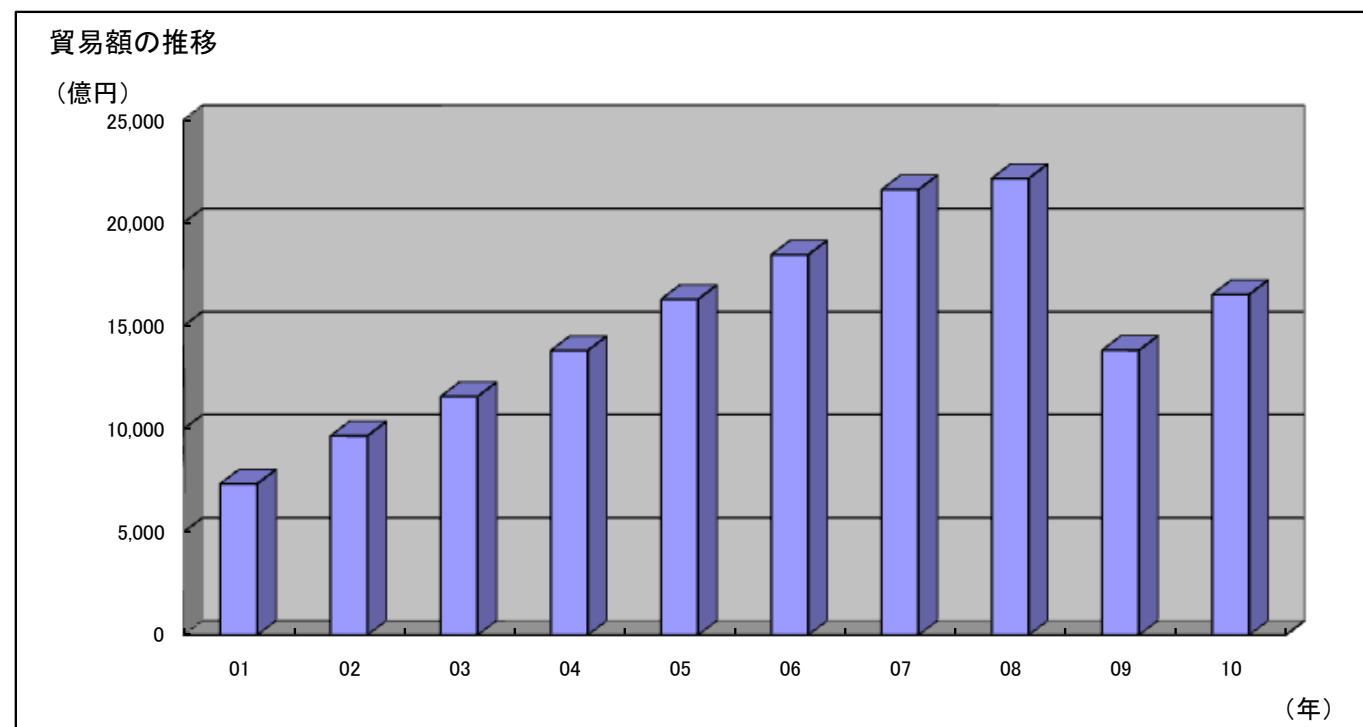
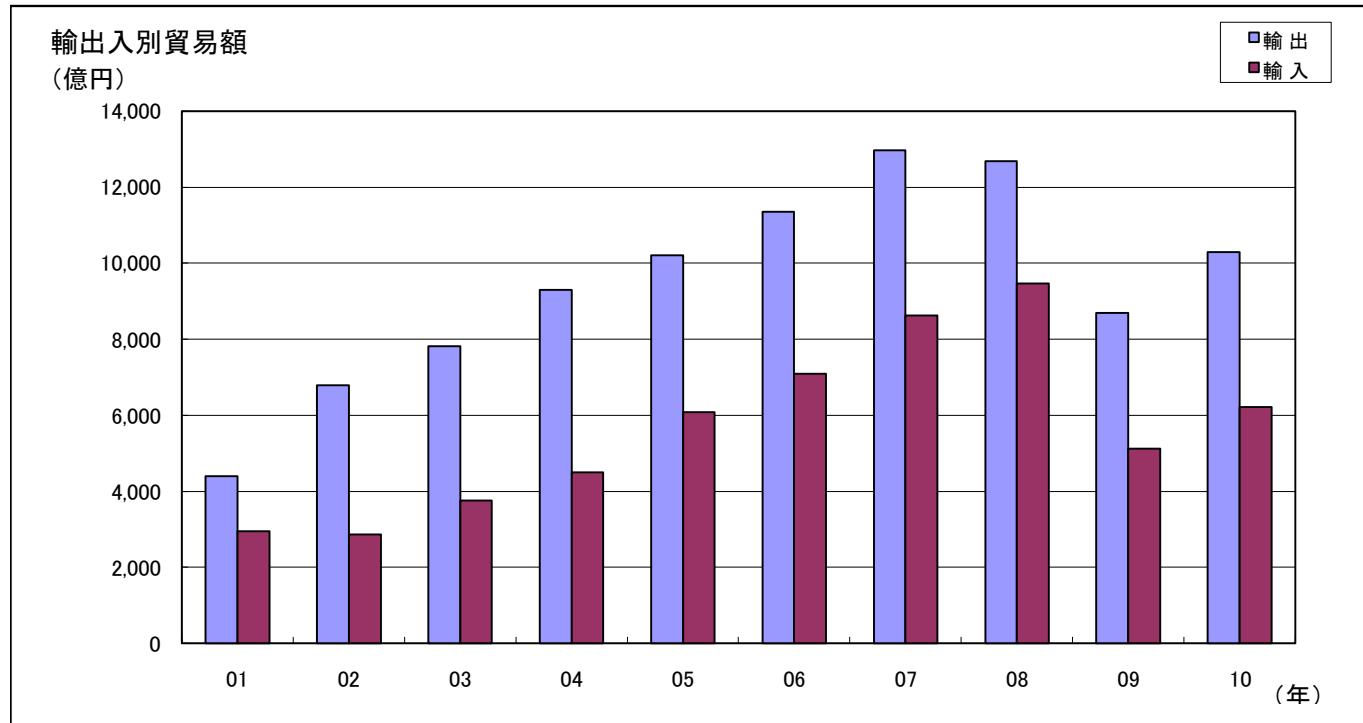
輸入総額は、6, 223億62百万円、伸び率+21.4%、金額にして1, 098億61百万円の増加で2年ぶりのプラスとなった。これは輸入品の約7割を占める鉱物性燃料の石油製品、原油及び粗油などが増加したことが主な要因となっている。

品目別動向では、韓国、サウジアラビア等からの石油製品が410億64百万円の増加、カタール、アラブ首長国連邦等からの原油及び粗油が235億94百万円の増加、南アフリカ、ニューカレドニア等からの鉄鋼が165億23百万円の増加、オーストラリア、インドネシア等からの石炭が61億60百万円の増加、韓国、アメリカ等からの鉄鋼くずが55億92百万円の増加となった。

《増加品目》	石油製品	1, 249億61百万円	(410億64百万円増、+ 48.9%)
	原油及び粗油	2, 330億35百万円	(235億94百万円増、+ 11.3%)
	鉄鋼	458億77百万円	(165億23百万円増、+ 56.3%)
	石炭	681億57百万円	(61億60百万円増、+ 9.9%)
	鉄鋼くず	133億80百万円	(55億92百万円増、+ 71.8%)

注. この内容を引用されるときは、徳山税関支署発表による旨附記してください。

年別 徳山税関支署管内貿易額推移グラフ



年	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10
輸出	4,391	6,789	7,824	9,303	10,203	11,358	12,980	12,689	8,688	10,295
輸入	2,945	2,871	3,749	4,504	6,085	7,089	8,625	9,463	5,125	6,224
合計	7,336	9,661	11,572	13,806	16,288	18,448	21,605	22,151	13,813	16,519